



75歳以上の 高齢ドライバーによる事故の特徴

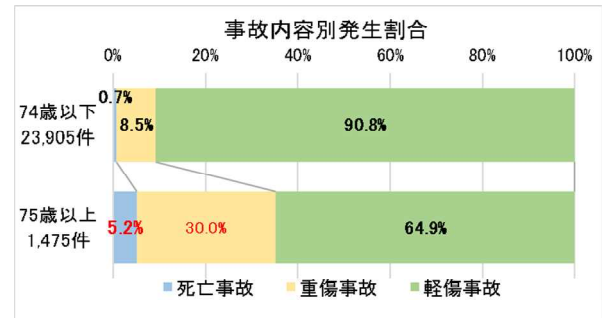
※過去5年（H30年～R4年）の人身事故データをもとに分析

75歳以上の高齢ドライバーが起こした交通事故（以下75歳以上の事故）と、74歳以下のドライバーが起こした交通事故（以下74歳以下の事故）を比較すると、どのような違いがあるのでしょうか。



重大事故の発生割合が高い

75歳以上の事故は重大事故の割合が高く
なっており、**重傷事故は30.0%**（74歳以下の
事故の割合8.5%の3.5倍）、**死亡事故は5.2%**
（同0.7%の7.4倍）を占めています。



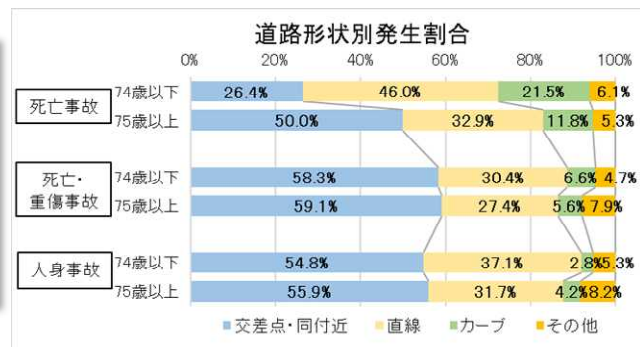
9～11時台の発生が多い



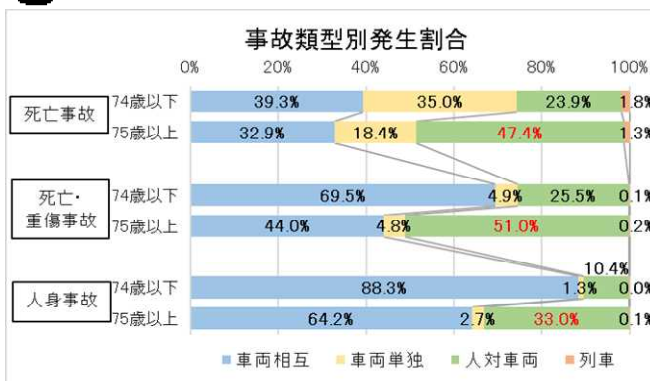
74歳以下の事故は朝7～8時台、夕
方17～18時台に発生のピークがありま
すが、75歳以上は午前中の**9～11時台**
に発生のピークがあります。

交差点・同付近での発生が多い

道路形状別発生割合では交差点・同付近
の割合が最も高く、死亡事故では74歳以下
の割合は26.4%ですが、75歳以上の事故は
50.0%で、74歳以下の約2倍となっていま
す。



人対車両の事故割合が高い

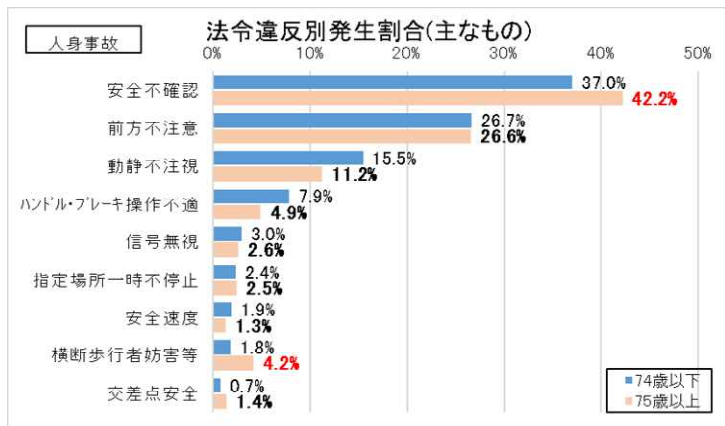


事故類型別では、75歳以上の事故の
人対車両の割合が人身事故は**33.0%**
（74歳以下の割合10.4%）、死亡・重傷事
故は**51.0%**（同25.5%）、死亡事故は
47.4%（同23.9%）と、それぞれ約2倍の
割合を占めています。

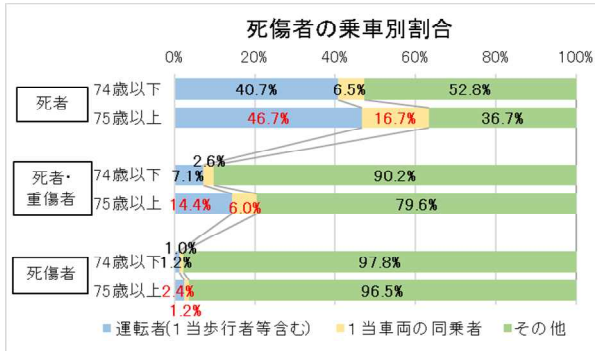
安全不確認が最も多い

人身事故の法令違反別では、安全不確認が**42.2%**と最も高く、74歳以下の割合**37.0%**と比べて5.2p高くなっています。

また、横断歩行者妨害等が**4.2%**を占め、74歳以下の**1.8%**と比べて約2.3倍割合が高くなっています。



事故を起こした運転者や同乗者が死傷する割合が高い

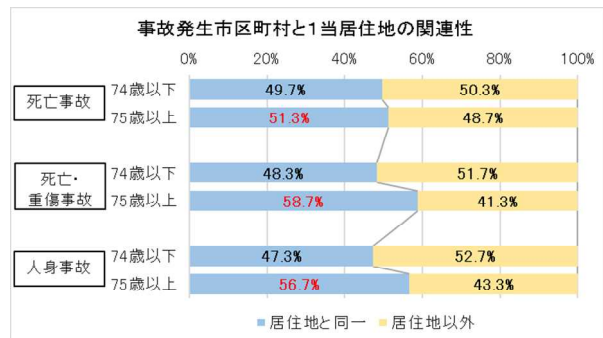


75歳以上の事故は、運転者本人や同人が運転する車両への同乗者が死傷する割合が74歳以下の事故と比べて高くなっています。

75歳以上の事故による死者は、運転者と同乗者の割合の合計が**63.4%**で、74歳以下の事故の割合**47.2%**と比べると、1.3倍以上高くなっています。

居住市区町村での事故が多い

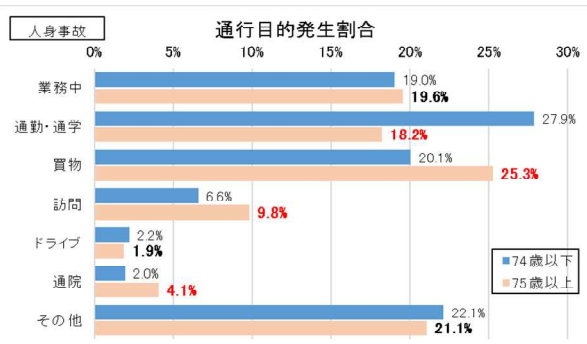
75歳以上の事故は、運転者が居住している市区町村で発生する割合が、74歳以下の事故と比べて高い傾向が見られます。



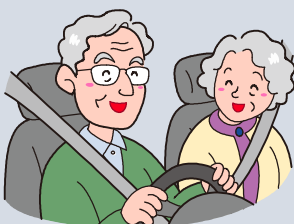
通行目的は買物が多い

75歳以上の事故は、通行目的は買物が**25.3%**と最も多く、74歳以下の事故の割合**20.1%**と比べ、5.2p高くなっています。

そのほか、訪問、通院の割合が74歳以下と比べて高く、通勤・通学の割合が低くなっています。



身体機能の変化に応じたゆとりある運転を心掛けましょう



75歳以上の高齢ドライバーの方は、加齢に伴う身体機能の衰えを自覚し、歩行者や他の車両等がいらないかよく確認し、ゆとりを持って運転しましょう。

また、体調が悪いときは運転しない、運転に不安を感じたら運転免許返納を検討する等、悲惨な事故を起こさないことを第一に考えましょう。

宮城県警察本部交通企画課